

分析 速報

2級第16回 学科試験問題の難易度・傾向分析と今後の対策

【総評】(第15回との比較)

	分析	対象問題	対策
A	各科目・範囲の出題数に、変化はみられない。		①②参照
B	全般的に、これまでの問題と同じレベルか少し易しいレベルである。ただし、後半の理論問題では、細かい知識を問う、難しい問題がある。	問32 問33 問35	①②参照
C	過去に出題された内容や記述と重なる出題が増えている。	問9 問13 問16 問17 問23 問49	① ② ③④ 参照
D	「試験の科目・範囲・細目」にない理論などの細かい知識・数字や各論に踏み込んだ内容の出題がある。	問29 問32	① ②参照
E	雇用労働情勢の分析について、現在の状況とは異なる2年前の古い資料に基づく問題がある。	問2	④参照
F	「日本語」やその「語感」で正解を導ける問題がある	問26 問28 問38 問48	⑤参照

【科目・範囲ごとの出題数()は第14回からの増減)、難易度】

科目	範囲	出題数()	難易度
1①	社会・経済的な動向とキャリア形成支援の必要性の認識	2(±0)	問1は個数問題、 中が2問
1②	キャリアコンサルティングの役割の理解	1(±0)	易が1問
1③	キャリアコンサルティングを担う者の活動範囲と義務	2(±0)	易が2問
2①	キャリアに関連する理論の理解	4(±0)	中が1問 易が3問
2②	カウンセリングに関連する理論の理解	3(±0)	中が2問 易が1問
2③	自己理解に関する理解	3(±0)	中が2問 易が1問
2④	仕事・職業に関する理解	3(±0)	難、中、易が各1問
2⑤	職業能力開発に関する理解	2(±0)	難、中が各1問
2⑥	雇用管理(人事管理・労務管理)に関する理解	3(±0)	中が2問 易が1問
2⑦	労働市場に関する理解	2(±0)	中、易が各1問
2⑧	労働法規、社会保障制度に関する理解	2(±0)	中が2問
2⑨	学校教育制度、キャリア教育に関する理解	1(±0)	易が1問
2⑩	メンタルヘルスに関する理解	3(±0)	中が2問 易が1問
2⑪	ライフステージ、発達課題に関する理解	3(±0)	難、中、易が各1問
2⑫	転機に関する理解	1(±0)	中が1問
2⑬	相談者の典型的・個人的特性に関する理解	1(±0)	中が1問
3①	基本的スキル	3(±0)	難、中、易が各1問
3②	相談実施過程において必要なスキル	3(±0)	中が1問、易が2問

4①	キャリア形成、キャリアコンサルティングに関する教育、普及活動	2(±0)	中、易が各1問
4②	環境への働きかけの認識と実践	2(±0)	易が2問
4③	ネットワークの認識と実践	1(±0)	易が1問
4④	自己研鑽・スーパービジョン	2(±0)	易が2問
4⑤	キャリア形成支援者としての姿勢	1(±0)	易が1問

【今後の勉強への指針】

対 策	
①	合格ライン(70点)を確実にクリアするために、「毎回出題される」「頻出の基本的・基礎的な内容」「得点できる科目・範囲」を正確に理解し、確実に得点する
②	「今回初めて出題された範囲」や「細かい知識や数字」にとらわれるよりも、「2級キャリアコンサルティング技能士」が実務を行う上で必要な、「基本的かつ基礎的知識」を中心に習得する
③	「過去問」とともに「キャリアの赤本」を活用し、必ず押さえておくべき「頻出分野」や「頻出項目」を把握して理解し、確実に得点できるようにしておく
④	学科試験対策用テキストである「キャリアの青本Ⅱ」を活用し、基本的・基礎的な知識の正確かつ「確実な定着」を得る
⑤	試験に慣れて、「日本語の語感による正答(例:必要がない、必ず等)発見」のテクニックや時間配分の技術、ケアレスミスをしらない方法を体得する 例:「最適な」「だけ」「かならず」「のみ」・等 強調する語彙や決めつける語彙は要注意!

以上